「病院長への提案・ご意見」への回答

（６月分）

	提案・ご意見	回答
1	先日入院しましたが、透析をしているのですが右と左のシャントの腕を間違えて表示してあり、血圧、採血が全く逆になっており翌日、家族が来て指摘して訂正していただきました。思い込みでの表示には気をつけてほしいと思います。何人かの確認をお願いします。	この度はシャント肢の表示間違いでご本人さま・ご家族さまに不安を与えることになったことをお詫びいたします。 透析患者さんに対しては、スタッフへの注意喚起としてシャント肢を表示し、実際に血圧・採血などはシャントが無いかどうかを必ず確認した上で実施しております。今後もシャント肢の確認をしたあとに必ず処置等を行っていくことを、病棟内スタッフにも再度周知し徹底して参ります。 また、ご指摘いただいた件を確認していく中で、シャント肢注意の表示が3パターンあることがわかりました。これもわかりやすく一つだけの表示とすることに改善いたしました。 貴重なご意見をありがとうございました。
2	2025年4月17日、2病棟に転院させていただき今までお世話になりました。入院時には不安もありましたが米田先生とスタッフの皆様に支えて頂き、頑張ることができました。看護師さんは忙しい中でも患者さんへの気配りには頭が下がります。食堂では98歳とは思えない方に元気をもらい又、レクレーションではゲームを楽しんだりと患者さんにも元気をもらいました。お陰様で6月12日に退院させていただくことになりました。皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。	ねぎらいのお言葉、大変ありがとうございます。 どうしても自由が制限される入院生活のなかで真摯にリハビリに取り組んでおられる姿に、私たち職員も頑張らないと…と元気をいただいています。 レクレーションは、今年度、力を入れたい取り組みの一つです。少しでも心にゆとりと、楽しみの場になればなと、看護助手中心に続けてまいります。